

西武秩父線の存続について

日頃、町村の振興につきましては、格別の御協力と御高配を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、今般、西武ホールディングスの筆頭株主である米投資会社サーベラス・グループの株式買い付けに当たり、西武秩父線をはじめとする不採算路線の廃止などを含む提案に関する報道がなされております。

特に西武秩父線は、秩父地域と県西部、都心に直結し、通勤や通学のほか高齢者の利用客が多い重要な路線であり、年間およそ370万人が利用する、地域住民の日常生活に必要不可欠な生活路線であります。

また、秩父地域は都心からも比較的近く、豊かな自然環境を有していることから、観光による地域の振興に重要な役割を果たしております。この3月、横浜方面から直通運転を開始したことで、観光客の増加が見込まれるなど、更なる秩父地域の活性化が期待されているところであります。

このため、西武秩父線は、秩父地域はもとより沿線地域の発展に果たす役割が極めて大きく、その廃止は地域の衰退にもつながりかねない重大な事態であります。

つきましては、地域振興をはかる上で重要な役割を果たしている西武秩父線の存続をはかることを強く要望いたします。

平成25年4月26日

株式会社西武ホールディングス
代表取締役社長 後藤高志様

埼玉県町村会長
野川和好